

# tree house project 木の子

tree house project 木の子  
(代表 藤田ありさ)

## 1. 団体説明

木の子は、①地域の自然を利用した子どもや大人の環境教育、学習、地域交流の場の創造、②学生が協力して地域に貢献するの場の創造、③建築、都市計画を専攻する学生の実践の場の創造という3つを活動理念としている。また、ツリーハウスを里山のシンボルとし「地域」「里山」を盛り上げたいという思いで環境教育やイベント、ツリーハウスや遊具の制作を実施。様々な世代の人々が里山という空間や時間を共有することによる、つながりの創造を目指している。

現在1回生3名、2回生7名、3回生16名が所属している。

## 2. 2020年度の活動

表1：2020年度の活動

2月	さくらガーデン記念イベント
5月	Youtube, Twitter, Instagramでの広報
6月	イメージキャラクター考案
7月	Youtube初投稿、オンライン企画開催
8,9月	SNSにて工作動画等を投稿
10月	アスレチック班、看板班、小屋班の活動再開
11月	工具等技術的指導を受ける
12月	SNSにて工作動画を投稿
2月	SNSにて草木の知識について投稿

(出所) 筆者作成

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため前年度よりも対面での活動が行うことができなかった。しかし、この状況の中で学生だけで何か出来るはずであると話し合いを繰り返し行い、その結果としてSNSでの広報に力を注ぐという結論に至った。新たな試みとしてYoutube「木の子出張所」を開設、既存のTwitter、Instagramを最大限の活用、イメージキャラクターを考案し学生だけでなく子どもにも閲覧できるようにと投稿をしていった。

私たちは対面における人とのつながりを大切に活動しており、このように難しい状況であれども学生だけでしかできないことを計画して、一致団結となって日々の活動に励んでいる。



図1：さくらガーデン記念イベント  
(出所) 所属学生撮影

## 3. 活動を通して学んでいること

私たちはツリーハウスや遊具などを設計、作成する建築班と小学生を対象としたイベントを企画、運営する環境教育班に分かれて活動している。活動が再開するまでの間はYoutube班、SNS班(Twitter、Instagram)に分かれている。

建築班は学生だけで案を出し、顧問教員の指導の下で設計、施工をしている。デザインに着目するだけではなく、目的や役割などの使用者のことを考えて設計している。これによって建築、都市計画の本質である部分を学ぶことが出来る。

環境教育班は里山で子どもたちや地域の人との交流の場となり、安全で楽しむことが出来ることを目的としてイベント企画を考案している。このように運営することで実践力や発想力、創造性などが得られる。

Youtube班は自然物に関する材料を使用した工作動画を製作している。簡単な単語の使用や理科の実験のような工作をしている。平仮名の字幕の追加や子どもが自分で実践してみないと答えが分からないような問題の導入などを行っている。

SNS班はYoutube班の工作よりも比較的簡単な物を投稿しており、自分で考えて作ってみるということを目的とする動画を投稿している。更に草木に関する情報や豆知識を投稿している。

この2つの班は子ども自身の力で思考、実行できる手伝いとなるように活動しており、企画力、行動力、情報収集能力など多くのことが得られる。



図2：Youtubeに投稿「タマネギ染めマスク」(出所) 所属学生撮影

## 4. 今後の展望

里山という自然にあふれる空間で学生だけでなく多くの人たちと交流し、楽しいコミュニティの場となるような居場所作りなど人とのつながりを感じる活動をしていきたいと考えている。

【謝辞】活動にあたり、熊谷哲先生(県立大名誉教授、NPO法人はりま里山研究所所長)、世良田ひとみさん(親子子育てメンター)および地域の方々に大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。